

越山地区を活性化!

地域おこし協力隊員が着任

10月3日(月)、市役所市長室において地域おこし協力隊辞令交付式が行われました。昨年の大葛地区に続き越山地区に着任した新隊員の2人に突撃インタビュー!! その熱い思いと今後の抱負などをお聞きしました。



Profile

群馬県出身24歳、
独身。大学院修了後に運輸会社に勤務。趣味は読書や旅行、散歩、登山、麻雀、家庭菜園、ドライブなどたくさんあるそうです。初の休日は、早速ドライブに出掛けていたという行動的な一面もあります!

まさと
藤井雅斗さん(越山)

Q 応募のきっかけは?

学生時代を京都で過ごしたことで、その街並みや景観に心を打たれ、まちづくりに対する思いが強くなりました。地域活性化を学習、研究していたこともあり、このような取り組みができる仕事に就きたかったというのが一番大きいですね。

Q 住んでみての感想は?

正直に言うと、着いて早々の汲み取り式トイレにはビックリ(笑)。そういう意味でも、環境面の整備などインフラの遅れは感じます。

越山の人たちは、地区のことにごく熱意を持っているなどという印象です。先日の五色湖まつりでのことですが、初対面の私にもこの地区のことやキャンプ場のことなど色々熱心に話してくれたんですよ。

Q 雪国での生活は?

全く経験が無いので色々な不安があります(汗)。日常生活全般ですが、特に自動車の運転ですね。タイヤ交換のタイミングや仕方も分かりませんので、地区の人に聞いてみようと思います。あと、初雪の時には雪道運転訓練みたいのをしてくれるとありがたいですね(笑)。

Q 任期中に取り組みたい活動や今後の抱負を聞かせてください

イベント関係で言えば、五色湖まつりのときに地区の人に教えてもらった立派なキャンプ場があるので、それを活用できると思っています。また、越山は農家が多いので、特産品の商品化に取り組み、その販売も併せ持った「農村カフェ」もやってみたいですね。

Q 一言メッセージを

今度、越山地区のホームページを開設しますので、ぜひご覧ください!



2人の活動拠点となる
田代公民館越山分館
近くに来た際は、
気軽に寄ってください!



地域おこし協力隊は、地域力の維持と強化を図ることを目的に、意欲のある市外の住民に地区の新たな担い手となって活動してもらう方々です。

隊員には、地区のホームページ作成などによる情報発信のほか、農業や農産物加工などへの従事、高齢者世帯のサポート、地区行事への参加などに取り組みんでもらう予定です。

雇用期間は最長3年間。越山地域まちづくり協議会(田村秀雄会長)や越山十日会(笹木金彦会長)と連携して、地区の新たな魅力を探り、活性化を図っていくことが期待されます。



辞令交付式(市長室10月3日)